

■一般目標 (GIO)

歯冠修復技工学において、解剖学的な基本形態と機能的な補綴装置等を製作するために必要な知識を修得する。

■到達目標 (SBOs)

- ・クラウンの概要と種類を説明できる。
- ・クラウンとブリッジの具備要件を説明できる。
- ・研究用模型の使用目的、支台築造体の製作方法を説明できる。
- ・クラウンとブリッジの製作方法を説明できる。

■教科書：最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：金曜日 18:50～19:35

■オフィスアワー：木内 香 (kiuchi.kaori@nihon-u.ac.jp) 金曜日・17:00～17:45

■成績評価：主として定期試験の成績（80%）と平常試験（20%）を前期と後期の合計で評価する。
平常試験は解説を行いフィードバックする。

■注意事項：ノート，教科書を持参すること。

■授業方法：教科書に沿った内容のスライドおよび配布プリントを用いて講義を行う。授業時間内に平常試験を2回行う。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を行うので復習をすること。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：小峰 太；現在，在職している日本大学歯学部附属歯科病院の経験を基に歯科医師の立場から口腔内で機能させる補綴装置を製作させるためには，本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

■関連教科：歯冠修復技工学（2・3年），顎口腔機能学（1・2年），歯冠修復技工学実習（1・2年）

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月11日 木内 香	1. 歯冠修復技工学の概要 (教)pp. 1-2	・歯冠修復技工学の意義と目的について説明できる。
第2回4月18日 小峰 太	2. 臨床的価値 1) 顎口腔系の機能の回復と改善 2) 顎口腔系の審美性の回復と改善 3) 口腔衛生の管理 (教)pp. 2-4	・臨床での歯科技工，患者症例を通して，歯科技工士と歯科医師との関わりを説明できる。
第3回4月25日 木内 香	3. クラウンの概要と種類 1) クラウンの概要 2) 歯冠修復物と部分被覆冠 (教)pp. 5-7	・クラウンの意義，特徴および用途を説明できる。 ・部分被覆冠の種類と特徴を列挙できる。
第4回5月2日 木内 香	3. クラウンの概要と種類 3) 全部被覆冠 4) 継続歯（ポストクラウン） (教)pp. 8-10	・全部被覆冠の種類と特徴を列挙できる。
第5回5月9日 木内 香	3. クラウンの概要と種類 (教)pp. 1-10 「平常試験」①，解説	・クラウン概要と種類について総合的に学ぶ。 ・第1回～4回までの講義内容を再確認し，理解度を深める。

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 到 達 目 標
第6回 5月16日 木内 香	4. ブリッジの概要と種類 (教) pp. 11-15	・ブリッジの特徴を列挙できる。 ・ブリッジの構成要素を説明できる。 ・ブリッジの種類を説明できる。
第7回 5月23日 木内 香	5. クラウンとブリッジの具備要件 1) 生物学的要件 (教) pp. 17-27	・生物学的要件を説明できる。
第8回 5月30日 木内 香	5. クラウンとブリッジの具備要件 2) 構造力学的要件 (教) pp. 27-32	・構造力学的要件を説明できる。
第9回 6月6日 木内 香	5. クラウンとブリッジの具備要件 3) 化学的要件 (教) pp. 33-36	・化学的要件を説明できる。
第10回 6月13日 木内 香	5. クラウンとブリッジの具備要件 3) 審美的要件 (教) pp. 36-40	・審美的要件を説明できる。
第11回 6月20日 木内 香	クラウンとブリッジまとめ (教) pp. 5-40 「平常試験」②, 解説	・クラウンとブリッジの概要と種類, 具備要件について総合的に理解する。 ・第3回～10回までの講義内容を再確認し, 理解度を深める。
第12回 6月27日 木内 香	6. クラウンとブリッジの製作 1) 臨床ステップの概要 2) 印象採得 (教) pp. 41-47	・クラウンブリッジの製作順序を説明できる。 ・印象材の種類と特徴を列挙できる。 ・印象方法を説明できる。
第13回 7月4日 木内 香	6. クラウンとブリッジの製作 3) 研究用模型 4) 印象用トレー (教) pp. 47-51	・研究用模型の使用目的を学ぶ。 ・印象用トレーの種類と目的, 製作法を説明できる。 ・印象方法を説明できる。
第14回 7月11日 木内 香	6. クラウンとブリッジの製作 5) 支台築造 (教) pp. 52-57	・支台築造の意義と目的と製作法を製作でき, 種類と使用材料を列挙できる。
第15回 7月18日 木内 香	前期のまとめ (教) pp. 1-57	・前期の講義内容を再確認し理解度を確認する。 ・第6回～14回までの講義内容を再確認し, 理解度を深める。